

会 告

◇ ◇ 電子情報通信学会創立 100 周年記念事業 ◇ ◇ ——記念懸賞論文募集のお知らせ——

編集連絡会

本会は、平成 29 年 5 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。編集連絡会では、創立 100 周年記念事業の一環として、ソサイエティごとにテーマ・内容を設定して、記念懸賞論文の募集を行います。最優秀論文並びに優秀論文は、平成 29 年 12 月号会誌（紙版、オンライン版）に掲載されます。

皆様の独創的かつ意欲的な論文をお待ちしておりますので、奮って御応募下さい。

【テーマ・内容】

●基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

「新領域の創造と新たな飛躍を目指して」

現在社会を支える重要な技術や装置の多くは、数十年前には、漫画や SF 小説における夢物語でしかありませんでした。しかし、失敗を恐れない地道な基礎研究や境界領域研究により、その夢物語は実現の足掛かりを得て、実用化されてきました。社会の今後の更なる発展を目指すためには、20 年 50 年あるいは 100 年後の電子情報通信技術において必要となる「新しい研究領域」や「新たな飛躍」などの「夢」を持つことが重要となります。今後、基礎・境界分野の研究者が取り組むべき「夢」について、自由闊達に語って下さい。

●通信ソサイエティ

「私と未来をつなぐ通信技術」

通信技術は、電話網のように通話というサービスを提供するためのインフラに始まり、今日では人と人をつなぐだけでなく、‘もの’ と ‘もの’ をもつないで新たなサービスを生み出すためになくてはならない中核技術へと進化しています。通信技術の発展は我々をどのような未来へつないでくれるでしょうか。私たちを取り巻く環境、エネルギー、自然災害、社会福祉などあらゆる側面から、通信技術とそれが切り開く未来、そして私たちの生活にもたらす恩恵について、次の 100 年を展望した論文を募集致します。

●エレクトロニクスソサイエティ

「自然と調和する 100 年先の情報通信とエレクトロニクス」

本会は、人のあらゆる活動が ICT ベースのコミュニケーション基盤で支えられ、持続的な進化を遂げる社会をあるべき未来像として描いています。その中で重要なのは天然資源の保全や環境汚染の回復などを通して地球環境を守りつつ、天災・人災等の被害を最小化する、自然と調和した持続可能社会の実現です。数十年後の近未来までの実現に向けて、目下以下に示す事項の挑戦が進められていますが、これらの更に先に待っている社会の未来像と、それを支える技術を自由に描いて下さい。

- ・自然エネルギー利用発電と新エネルギー源開拓、地球規模環境観測と災害予測
- ・地球規模の自然現象シミュレーション
- ・ユビキタス地震モニタリングネットワーク
- ・地上一月間／惑星間通信など

●情報・システムソサイエティ

「人・社会・自然を豊かにする情報システムの未来展望」

情報システムの進歩により、かつてアニメや映画の世界で登場した様々な技術が実現されてきました。その一方で高度化した社会は、新たな問題に直面しているのも事実です。そこで今世紀という時間規模で、人類の繁栄、更には、人類のみならずこの地球全体の共存の実現に必要な情報システム、または、情報システムを実現する我々研究者・技術者に求められる思想・理念などについて、自由にお書き下さい。研究者・技術者（を目指している者）ならではのメッセージを期待しています。

【賞及び賞金】

各テーマ 最優秀賞 1 件（10 万円）、優秀賞 3 件（各 5 万円）

【応募資格】

国籍及び本会会員，非会員については問いません。

【応募規程】

- (1) 日本語または英語で執筆して下さい。
- (2) 一人一論文とし，ソサイエティを明記して下さい。連名は不可とします。
- (3) 自作・未発表で第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り，本会著作権規程に違反していることが判明した場合には，審査結果発表後であっても，受賞の取消と賞金の返還を求めます。
本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>
- (4) 万が一，本記念懸賞論文の応募作品に対し，第三者から権利侵害，損害賠償等の苦情，異議申立があった場合は，電子情報通信学会は一切の責任を負わず，応募者が費用負担も含めて対処するものとします。
- (5) 最優秀論文並びに優秀論文の掲載にあたっては，会誌掲載記事としての体裁に整え，既定の用字・用語を用いて編集致します。また，編集作業に必要な本文・図表等のデータを依頼する場合がございますので，あらかじめ御了承下さい。会誌掲載前に著者校正があります。
- (6) 受賞論文の著作権は一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。
- (7) 応募論文は返却致しません。
- (8) 各ソサイエティ宛て電子メールにてお送り下さい。なお，応募及び審査の状況，受賞に関するお問合せには回答しかねます。

【応募方法】

- (1) 執筆文字数は以下のとおりです。
 - ・和文の場合は，11,000 文字（図，表，文献，著者紹介含む）以内。
 - ・英文の場合は，3,000 words（図，表，文献，著者紹介含む）以内。原稿の1 ページ目は表紙とし，タイトル，氏名（ふりがな付き），会員種別，住所（連絡先），電話番号，メールアドレス，学校（学部，専攻，学年）名，または，勤務先（部，課）名，及び所在地，所属学会があれば学会名を明記して下さい。
- (2) 懸賞記念論文用 WORD ファイルを参考にして作成，PDF ファイルに変換の上，添付ファイルにて送信して下さい。
- (3) メールを表題を「創立 100 周年記念懸賞論文募集（応募ソサイエティ名）」として下さい。
- (4) 他の文献からの引用箇所には，参考文献の番号を明記し，本文の巻末に参考文献の一覧表を付記して下さい。

【個人情報の取扱い】

- (1) 論文募集に係る個人情報については，論文の審査，発表，表彰，応募状況の集計，公表（会誌，ホームページ等での掲載）以外の目的で使用することはありません。
- (2) 発表の際には，受賞者の氏名を公表致します。

【応募受付開始】

平成 28 年 8 月 1 日

【応募締切】

平成 28 年 12 月末日

【問合せ・応募宛先】

基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ memorialpaper_a@ieice.org
通信ソサイエティ memorialpaper_b@ieice.org
エレクトロニクスソサイエティ memorialpaper_c@ieice.org
情報・システムソサイエティ memorialpaper_d@ieice.org

【審査決定】

論文の選考は，各ソサイエティ記念論文選考委員会が候補論文の審査を行った上で，編集連絡会において決定致します。

以上

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 28 年 9 月 1 日～9 月 30 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
情報理論 (IT)	2日(金)	9:35~15:25	ニューハートピア
非線形問題 (NLP)	14日(水) 15日(木)	10:30~17:30 10:00~15:45	甲南大学
情報セキュリティ (ISEC)	2日(金)	9:45~17:20	機械振興会館
I T S (ITS)	14日(水)	9:40~18:20	日本大学・駿河台キャンパス
スマートインフォメディアシステム (SIS)	1日(木) 2日(金)	13:00~17:45 10:00~11:20	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
9月休会の研究会；回路とシステム (CAS), 信頼性 (R), 超音波 (US), 応用音響 (EA), VLSI 設計技術 (VLD), 信号処理 (SIP), ワイドバンドシステム (WBS), システム数理と応用 (MSS), 思考と言語 (TL), 技術と社会・倫理 (SITE), 安全性 (SSS), イメージ・メディア・クオリティ (IMQ), 高信頼制御通信 (RCC), バイオメトリクス (BioX), 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS), 安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)			

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくはトライアルのページ http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P)	15日(木)	9:30~17:40	産業技術総合研究所・つくば中央
マイクロ波 (MW)	16日(金)	9:00~16:10	
環境電磁工学 (EMCJ)	16日(金)	11:00~17:05	兵庫県立大学・姫路工学キャンパス・書写記念会館
ネットワークシステム (NS)	29日(木) 30日(金)	9:10~18:05	東北大学・電気通信研究所
情報ネットワーク (IN)		9:10~17:10	
通信方式 (CS)			
フォトリックネットワーク (PN)	1日(木) 2日(金)	12:40~17:40 8:45~12:35	KKR はこだて
ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)	16日(金)	9:20~16:35	東京農工大学・小金井キャンパス・科学博物館
医用画像 (MI)			
9月休会の研究会；宇宙・航行エレクトロニクス (SANE), 衛星通信 (SAT), 電子通信エネルギー技術 (EE), 光通信システム (OCS), 無線通信システム (RCS), コミュニケーションクオリティ (CQ), 光ファイバ応用技術 (OFT), 情報通信マネジメント (ICM), モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA), インターネットアーキテクチャ (IA), スマート無線 (SR), 知的環境とセンサネットワーク (ASN), 短距離無線通信 (SRW), 無線電力伝送 (WPT)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
マイクロ波 (MW)	15日(木)	9:30~17:40	産業技術総合研究所・つくば中央
アンテナ・伝播 (A・P)	16日(金)	9:00~16:10	
有機エレクトロニクス (OME)	30日(金)	15:45~17:35	大阪大学・吹田キャンパス・銀杏会館
エレクトロニクスシミュレーション (EST)	7日(水)	9:20~16:50	石垣市商工会館
	8日(木)	9:10~17:00	
	9日(金)	9:10~16:50	
9月休会の研究会；機構デバイス (EMD), 磁気記録・情報ストレージ (MR), 超伝導エレクトロニクス (SCE), 電子ディスプレイ (EID), 電子デバイス (ED), 電子部品・材料 (CPM), 電磁界理論 (EMT), シリコン材料・デバイス (SDM), 集積回路 (ICD), 光エレクトロニクス (OPE), レーザ・量子エレクトロニクス (LQE), マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティックス (MBE)	24日(土)	13:00~16:10	新潟大学・駅南キャンパス・ときめいと
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)	15日(木)	13:00~17:50	愛知県立大学・長久手キャンパス
画像工学 (IE)	16日(金)	9:30~16:00	
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)			
言語理解とコミュニケーション (NLC)	8日(木)	10:00~18:10	コンベンションルーム AP 渋谷道玄坂
	9日(金)	10:00~16:30	
コンピュータシオン (COMP)	6日(火)	10:30~16:50	富山県立大学
データ工学 (DE)	13日(火)	14:30~18:00	慶應義塾大学・日吉キャンパス
	14日(水)	10:00~11:30	
パターン認識・メディア理解 (PRMU)	5日(月)	9:00~19:30	富山大学・五福キャンパス
情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)	6日(火)	9:00~18:30	
教育工学 (ET)	24日(土)	13:00~17:20	鳥取環境大学
医用画像 (MI)	16日(金)	9:20~16:35	東京農工大学・小金井キャンパス・科学博物館
ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)			
リコンフィギャラブルシステム (RECONF)	5日(月)	13:10~17:50	富山大学・五福キャンパス・工学部
	6日(火)	9:10~14:40	
クラウドネットワークロボット (CNR)	20日(火)	13:00~17:25	東京大学・山上会館・本郷キャンパス
9月休会の研究会；コンピュータシステム (CPSY)，人工知能と知識処理 (AI)，ソフトウェアサイエンス (SS)，ディペンダブルコンピューティング (DC)，ニューロコンピューティング (NC)，知能ソフトウェア工学 (KBSE)，音声 (SP)，ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)，情報通信システムセキュリティ (ICSS)，サービスコンピューティング (SC)			

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場
ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	14日(水)	13:30~15:00	石川県政記念・しいのき迎賓館
ヒューマン情報処理 (HIP)	27日(火)	13:00~17:35	奈良春日野国際フォーラム 莞~I・RA・KA~
	28日(水)	10:00~16:15	
9月休会の研究会；マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)，福祉情報工学 (WIT)			

◇第二種研究会開催案内

第2回コミュニケーションクオリティ (CQ) 基礎講座ワークショップ	10月6日(木)，7日(金)	JA 長野県ビル
第11回ネットワークソフトウェア研究会	10月20日(木)，21日(金)	大阪大学・中之島センター
第29回情報伝送と信号処理ワークショップ	11月9日(水)~11日(金)	KKR はこだて
シンポジウム「テラヘルツ科学の最先端Ⅲ」	11月23日(水)~25日(金)	三国観光ホテル

◇第二種研究会発表募集案内

第30回多値論理とその応用研究会	1月7日(土)，8日(日)	石川県文京会館
------------------	---------------	---------

◇ ◇ CEATEC JAPAN 2016 との連携企画開催のお知らせ ◇ ◇

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2016 と昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2016 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2016 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術」及び東京支部主催シンポジウム「IoT 普及への課題と期待～ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル～」並びに下記 4 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは、企業や人の共創を鼓舞し、未来の道標として「つながる社会、共創する未来」です。

【開催日】 2016 年 10 月 5 日（水）～6 日（木）

【会場】 幕張メッセ 国際会議場（千葉市）

会場（国際会議場）までのアクセスは、<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html> を御参照下さい。

【参加費】 それぞれの企画に表示

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加される方は、CEATEC JAPAN 2016 ホームページ（www.ceatec.com）から入場事前登録をお願い致します。（8 月初旬掲載予定）

本学会が主催する内容は次の通りです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム （参加費無料）

【開催日】 10 月 5 日（水） 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術

④電子ディスプレイ研専（EID）（参加費無料）

【開催日】 10 月 6 日（木） 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 105 号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム—人間と情報のインターフェイス—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム （参加費無料）

【開催日】 10 月 6 日（木） 14:00～16:50

【会場】 国際会議場 1F 103 号室

【テーマ】 IoT 普及への課題と期待—ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル—

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究専門委員会企画行事

①人工知能と知識処理研専（AI）

（参加費無料（ただし予稿集有料の場合あり））

【開催日】 10 月 5 日（水） 13:30～16:30

【会場】 国際会議場 1F 103 号室

【テーマ】 社会的問題解決のための AI・エージェント技術

② ICT スマートグリッド技術時限研専（ICT-SG）

（参加費無料（ただし予稿集有料の場合あり））

【開催日】 10 月 6 日（木） 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 1F 103 号室

【テーマ】 IoT により実現されるスマート社会基盤（仮）

③コンピュータシステム研専（CPSY）

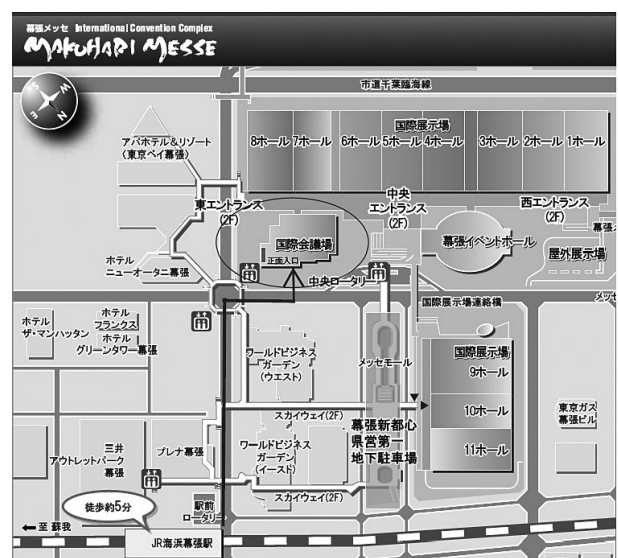
（参加費無料（ただし予稿集有料の場合あり））

【開催日】 10 月 6 日（木） 10:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 104 号室

【テーマ】 萌芽のコンピュータシステム研究展示会

【国際会議場までのアクセス方法】



※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) の詳細は、www.ceatec.com を御覧下さい。

—CEATEC JAPAN 2016 電子情報通信学会特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2016 のコンファレンスの部において、これからの社会を変革する技術にフォーカスした特別シンポジウムを開催致します。

20 世紀に大きな発展を遂げた交通・運輸技術は、今まさに大きな変革期を迎えようとしています。次世代自動車は高度化した自律センサーと高精度地図、これらを用いて高度な判断を行う情報処理システム、車車間で情報を共有するための通信等によってハイテク武装することで自動走行の実現を目指しております。

また、ドローンに代表される小型飛翔体は社会の様々な側面において新たな可能性を生み出すことが期待されており、これにも自律飛行のための様々なセンサーや無線制御技術が用いられております。さらにこれらの動力源は化石燃料から電気・水素などへの転換、あるいはワイヤレス給電の採用へと多様化の方向に進んでいます。本シンポジウムでは今後の社会に大きな影響を与えるこれら次世代交通・運輸システムの実現を可能にするいくつかの基盤技術についての課題と今後の方向性について議論致します。

日 時：2016 年 10 月 5 日（水）10：00～13：00

場 所：幕張メッセ国際会議場 2 階コンベンションホール A

テーマ：「次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム

(敬称略)

司会・進行 電子情報通信学会企画担当理事 山尾 泰

10：00～10：15 開会挨拶

電子情報通信学会会長 佐藤健一

10：15～10：40 自動走行を可能にする自律センサー技術

バイオニア(株)自動運転事業開発部 村松栄治

10：40～11：05 AIにより高度なマシンドライビングを可能にする情報処理システム

東京大学准教授 加藤真平

11：05～11：30 将来の航空・飛翔体及び測位に関する技術

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所研究統括監 小瀬木 滋

11：30～11：55 ワイヤレス給電技術

京都大学教授 篠原真毅

11：55～12：20 次世代交通・運輸システムにおける通信の役割

電気通信大学教授 山尾 泰

12：20～12：50 会場を含めた討論

12：50 閉会

◇ ◇ CEATEC JAPAN 2016 電子情報通信学会東京支部シンポジウム ◇ ◇

IoT (Internet of Things) 技術は、身の回りの様々な「モノ」をネットワークに接続し社会に幅広く存在する情報を集め制御することにより、我々の社会を大きく変えようとしています。例えば、家庭内に存在する各種の家電機器からの情報を利用して、より暮らしを便利に支えるスマートハウス、より安全で快適な交通環境を作る自動車通信や交通基盤、工場の機器や通信装置などをより効率的に運用するためのセンサ・制御ネットワークなど、IoT 技術の適用の取り組みが盛んに行なわれています。今後、このような IoT 技術の発展により、「モノ」をつなぐネットワークが次世代の社会インフラとして構成されていくことが期待されています。

一方、IoT 技術は上記にとどまらず、多種多様な適用領域や使い方それぞれに対して個々に広がりを見せつつある状況です。このため、IoT 技術や IoT 市場といった確立した領域を持つわけではなく、また、次世代の社会インフラとしてのイメージが確定している状況でもありません。今後、ますます様々なアイデアが創出され、実現技術を含めて現状では想像もつかない領域まで広がりを見せていくことが期待されているのではないのでしょうか。このように、一言で IoT 技術と呼ばれている技術に関して、実際にどのようなことが実現されているのか、実現される見込みであるのか、一概にはとらえがたいと考えています。

本シンポジウムでは、実際に IoT 関連技術について第一線でご活躍の方々により、さまざまな領域について、さまざまな角度から、どのようなユースケースがあり、どのような課題に直面し、それに対しどのような技術革新が期待されているのかといった、生の動向をご紹介します。

本シンポジウムが、みなさまがより具体的に IoT 技術をとらえ、新たな発展に向かう気付きの場となることを期待しています。

開催日：2016年10月6日（木） 14：00～16：50

会場：幕張メッセ国際会議場 1F 103号室

テーマ：IoT 普及への課題と期待

—ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル—

プログラム

- 14：00～14：10 開会挨拶
川添雄彦氏 電子情報通信学会東京支部長、日本電信電話(株)サービスイノベーション総合研究所長
- 14：10～14：40 スマートメーターシステムの実用化動向と今後の展望（仮）
渋谷昭宏氏 三菱電機(株)福山製作所主管技師長
- 14：40～15：10 社会インフラシステムにおける無線マルチホップ通信技術の適用事例
野崎正典氏 沖電気工業(株)情報・技術本部研究開発センタースマートネットワーク技術研究開発部長
- 15：10～15：40 IoT の社会実装に向けたモノ向け無線通信技術の取組み
吉野修一氏 日本電信電話(株)未来ねっと研究所ワイヤレスシステム研究部長
- 15：40～16：10 IoT 本格化に向けたモバイルネットワークへの取組み（仮）
松田尚久氏 NEC キャリアサービス事業部マネージャ
- 16：10～16：40 IoT システムにおけるデータ収集技術開発に対する取組み
石井大介氏 (株)日立製作所研究開発グループ情報通信イノベーションセンターネットワーク研究部研究員
- 16：40～16：50 閉会挨拶
川添雄彦氏 電子情報通信学会東京支部長、日本電信電話(株)サービスイノベーション総合研究所長

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●会津大学

公募人員 コンピュータ理工学部
教授, 上級准教授, 准教授等若干名(テニュアトラック)
専門分野 コンピュータ理工学
応募締切 平成 28 年 9 月 16 日 (金) 必着
問合先 企画運営室 奥平恭子
cse-position@u-aizu.ac.jp
詳細 必ず学会 HP 並びに大学 HP にて確認のこと

●東邦大学

公募人員 講師, 准教授または教授計 2 名
所 属 理学部情報科学科
専門分野 数学教育 (1 名) 及び知能情報 (1 名)
応募資格 博士の学位を有し, 大学院の教育・研究担当可能な方
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 16 日 (金) 必着
問合先 〒274-8510 船橋市三山 2-2-1
東邦大学理学部情報科学科主任 松島俊明
TEL [047] 472-8237, matusima@is.sci.toho-u.ac.jp
詳細 <http://www.sci.toho-u.ac.jp/is/>

●岐阜大学

公募人員 電気電子・情報工学科情報コース 准教授 1 名
専門分野 知能情報学, メディア情報学, 音声や画像などの実世界の複数の情報を統合し機械学習により認識する技術に関する研究分野
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着
問合先 電気電子・情報工学科情報コース長 速水 悟
TEL [058] 293-2710, hayamizu@gifu-u.ac.jp
詳細 <https://jrecin.jst.go.jp/>

●佐世保工業高等専門学校

公募人員 電子制御工学科 助教または講師 1 名
専門分野 情報工学分野(セキュリティ, ネットワーク, データベース, ソフトウェア・ハードウェア工学関連分野を含む)
応募資格 高等専門学校における教育及び, 研究に理解と熱意を持って取り組むことができる方で, 博士を取得, または, 数年で博士の取得の見込みがある方
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) (必着)
問合先 電子制御工科学科長 兼田一幸, kaneda@sasebo.ac.jp
詳細 <http://www.sasebo.ac.jp/snct/employment>

●諏訪東京理科大学

公募人員 コンピュータメディア工学科 助教 1 名 (任期上限 5 年)
専門分野 人工知能 (機械学習) 及びその工学的応用分野
担当授業 人工知能入門 (予定), プログラミング技術入門, コンピュータメディア工学実験 1
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着
問合先 工学部コンピュータメディア工学科主任 平田幸広
yhirata@rs.suwa.tus.ac.jp
詳細 <https://www.suwa.tus.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/201607-kyoinkoubou-cs.pdf>

●東京理科大学

公募人員 工学部電気工学科 嘱託助教 1 名
専門分野 制御・システム分野
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着
問合先 工学部電気工学科主任 小泉裕孝
TEL [03] 5876-1717, head2016@ee.kagu.tus.ac.jp
詳細 下記, 東京理科大学工学部電気工学科の HP を参照
<http://www.ee.kagu.tus.ac.jp/top.php>

●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 教授または准教授 2 名
専門分野 博士の学位を有し, 下記いずれかの分野の業績がある方
・情報セキュリティ, 次世代ネットワーク
・メディア情報処理
・大規模データ処理, 人工知能応用, 機械学習応用
担当科目 情報セキュリティ, 計算機ネットワークなど
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着
問合先 電子情報工学科主任 太郎丸 眞
詳細 <http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/>

●早稲田大学

公募人員 教授あるいは准教授 1 名
専門分野 アナログミックストシグナル LSI, A-D/D-A 変換回路, 回路検証技術, デジタル LSI 設計, 組込みシステム, SiP, アプリケーション SoC, LSI 応用アルゴリズム, LSI 実装等
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 10 月 3 日 (月) 必着
問合先 大学院情報生産システム研究科 吉増敏彦
TEL [093] 692-5358, yoshimasu@waseda.jp
詳細 本学 Web ページ, <http://www.waseda.jp/ips/>

●東京都立産業技術高等専門学校

公募人員 ものづくり工学科 助教 2 名
専門分野 電子回路 (アナログ, デジタル, 組込みシステム) 及び情報セキュリティ・ネットワーク
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
応募締切 平成 28 年 10 月 4 日 (火) 必着
問合先 ①公募全般: 公立大学法人首都大学東京総務部人事課 人事制度係, kyoinsaiyo@jmi.tmu.ac.jp
②専門分野: 高専品川キャンパス教務主事 柴崎年彦

TEL [03] 3471-6331, shiba@metro-cit.ac.jp
詳細 http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/cit.html

●弘前大学

公募人員 理工学研究科（理工学部電子情報工学科併任）助教
1名
専門分野 電子工学分野
応募資格 博士の学位を有するかまたは取得見込みであり、専門
分野の研究業績のある方
着任時期 平成29年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成28年10月21日（金）必着
問合先 大学院理工学研究科 小林康之
詳細 <http://www.hirosaki-u.ac.jp/14650.html>

●秋田県立大学

公募人員 電子情報システム学科 教授または准教授1名
専門分野 情報システム基盤分野（ソフトウェア工学、システム
ソフト、高性能計算、シミュレーション工学など）
担当科目 ソフトウェア工学、オペレーティングシステム、計算
機アーキテクチャ、卒業研究、修士論文指導など
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年10月31日（月）必着
問合先 電子情報システム学科長 磯田陽次
TEL [0184] 27-2941, isota@akita-pu.ac.jp
詳細 <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>

●静岡大学

公募人員 学術院工学領域数理システム工学系列 助教1名
専門分野 情報工学（メディア・コミュニケーションシステムの
設計・開発に関わる研究分野）
任期 5年（学内審査により5年後に任期なしポストへ移行
することが可能）
着任時期 平成29年3月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成28年10月31日（月）必着
問合先 数理システム工学系列教授 横沢正幸
TEL [053] 478-1218, yokosawa.masayuki@shizuoka.ac.jp
詳細 <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/research/recruit/>

●東洋大学

公募人員 助教5名
所属 情報連携学部情報連携学科（平成29年度開設）
専門分野 情報学及びその応用分野
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年10月31日（月）必着
問合先 経営企画本部事務局
ml-iniad-em@toyo.jp
詳細 https://j-sys.toyo.ac.jp/pms/app/saiy_f1550

●奈良先端科学技術大学院大学

公募人員 テニユアトラック教員（特任准教授）1名
専門分野 マテリアルズインフォマティクス
応募資格 博士の学位取得後おおむね10年以内の者
応募締切 平成28年10月31日（月）必着
問合先 研究推進機構研究推進部門 田中 章
TEL [0743] 72-5614, atanaka@rsc.naist.jp
詳細 <http://www.naist.jp/job/>

●静岡理工科大学

公募人員 教授または准教授または講師1名
専門分野 電子デバイス分野
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年11月15日（火）必着
問合先 電気電子工学科学科長教授 土肥 稔
TEL & FAX [0538] 45-0156（直通）
dohi@ee.sist.ac.jp
詳細 下記、本学ホームページを御参照下さい
<http://www.sist.ac.jp/>

●東京農工大学

公募人員 大学院電気電子工学専攻 准教授1名（任期あり）
専門分野 電気電子工学
応募資格 応募締切時点で学位取得後10年以内程度であること
着任時期 平成29年2月以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成28年11月18日（金）必着
問合先 電気電子工学専攻教授 宇野 亨
uno@cc.tuat.ac.jp
詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>

●福岡工業大学

公募人員 准教授または助教1名
所属 情報工学部情報工学科
専門分野 情報工学（離散構造）または関連分野
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年11月25日（金）必着
問合先 情報工学科長 前田道治
TEL [092] 606-4905, maeda@fit.ac.jp
詳細 http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/index

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 11月号掲載分 平成28年9月23日（金）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載して
おります。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の
求人が全て御覧になれます。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

——会誌 電子配信トライアル募集中——
—更に使いやすくなりました！—

このたびアプリの機能追加・改良を行い、更に
使いやすくなりました！
この機会に是非トライアルに御参加下さい！

会誌編集委員会では、現在、会員への更なるサービス向上を目指してスマートフォンなどへの会誌のプッシュ型配信サービスの500名限定のトライアルを実施中です。

会員の方が、iPhone、iPad等をお持ちの場合(アンドロイド端末については今後対応する予定です)、簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに、最新のe-pub版で構築された過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスも利用可能です。

●インストール方法：

iTunesストアから電子情報通信学会ieice会誌をダウンロードすることから始まります。

下記またはQRコードからインストールできます。

iOS端末のAppStoreから“IEICE”で検索してインストールできます。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id957695896>

また、これに伴い、会誌モバイルサイトの内容を改訂しました。

<http://app.journal.ieice.org/>

iOSアプリのサポートページは下記に用意しました。

<http://app.journal.ieice.org/ios/support.html>

会員の場合は全ての記事を見ることができます。

●ログインするには、会員番号とパスワードを入力します。

なお、トライアル中は、バグ情報、アップデート情報、アンケート等をお送りすることがあります。お手数ですが、アクセスされましたら下記宛て御連絡下さい。

連絡先：会誌出版課 kaishi_trial@ieice.org

御協力をお願い致します。

(基礎・境界ソサイエティ)

9月号 [英文] Recent Advances in Image Sampling and Reconstruction

(通信ソサイエティ)

9月号 [和文] 無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬及び関連システムの論文

9月号 [英文] Integration Technologies of Ambient Intelligence and Sensor Networks

10月号 [和文] ネットワークの設計・制御・分析・管理技術

10月号 [英文] Satellite Communication Technologies in Conjunction with Main Topics of JC-SAT2015

(エレクトロニクスソサイエティ)

9月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devices

10月号 [英文] Microwave and Millimeter-Wave Technology

(情報・システムソサイエティ)

9月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理

9月号 [英文] Knowledge-Based Software Engineering

10月号 [和文] ライフインテリジェンスとオフィス情報システム

10月号 [英文] Recent Advances in Machine Learning for Spoken Language Processing

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

◇関西支部

●電気三学会関西支部「准員及び学生員のための講演会(前半)」

期 日 平成28年10月25日(火), など

会 場 神戸大学(神戸市), など

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

●電気三学会関西支部専門講習会「人の内面状態理解のための生体情報センシング最新動向」

期 日 平成28年10月28日(金)

会 場 中央電気倶楽部513号室(大阪市)

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

